



### ■前沢中学校（岩手県奥州市）



一関遊水地について学習

## 5月のあいぽーと施設利用のご紹介

総合学習の一環として、今年も岩手県奥州市の前沢中学校、宮城県登米市の浅水小学校の生徒さんが「あいぽーと」を訪れてくれました。

北上川の歴史や過去に発生した水害、一関遊水地事業の役割、災害への備えなどの講義を行った他、館内の見学を通して治水対策の重要性を学んでもらいました。

### ■浅水小学校（宮城県登米市）



災害対策室の役割について学習



展望室から河川施設について学習



北上川や周辺の生物について学習

# 一関遊水地ってなに!?



### 一関遊水地とは？

北上川の中流部・岩手県南部に位置する一関地区は、その地理的特性から古来より水害に悩まされてきました。

昭和22年（1947年・カスリン台風）、昭和23年（1948年・アイオン台風）に2年連続で来襲した大洪水では約600名の死者行方不明者を出す未曾有の大水害に見舞われ、戦後間もない一関地区は壊滅状態に陥ったのです。一関遊水地は、このような水害を契機に計画された北上川の治水の根幹をなす一大プロジェクトです。

遊水地は、市街地を洪水から守る周田堤と、中小洪水から農地を防御し調節効果を増大させる小堤からなり、第1、第2、第3の3つの遊水地で構成されています。

一関遊水地は、水害の早期解消はもとより、人々の生活を支え、地域づくりを支援する事業として進められています。

豊かな環境と調和した水害のない地域をめざして 

### 編集後記

普段は入られない「災害対策室」は、密かに(?)小学生に人気があります。(秘密基地的感覚かな…?) どんな些細な事でも、治水への関心を持つきっかけになると嬉しいです♪(や)